

1年生 学年通信

荒川中学校 第10号
2024年1月10日発行



2024



1日、能登半島で震度7の地震があり、建物の倒壊、交通網の寸断と、今も大変不安な毎日を送られていると思います。自然災害は日本中どこで起こっても不思議でなく、人ごとではありません。私たちは減災・防災の努力をもちろんしなくてはなりません。そして、災害が起こったあと、救出や復興の見通しが持てる充実した町づくりをぜひ期待します。被災地の中学生の思いをくんで、今、自分たちにできることを考えてみましょう。

さて、2学期は体育祭、荒フェス・校内音楽祭がありました。1つのものを作り上げるために、役割を分担し、準備し、完成させ、団結力・達成感を感じられたと思います。授業、部活動、毎日の生活や行事を通じて、失敗を経験しながら、互いにカバーする力、それぞれを認め合う力、自分自身を客観的に見る目（自我）が育ってきていると感じています。

いよいよ3学期です。締めくくりの学期です。今までの経験を生かして、より良い自分、クラス、学年を目指していきましょう。年の初めにあたり、新しい気持ちで、自分自身の目標を1つ決めましょう。



今年は辰年ですね。

「なんで十二支の中で辰だけ架空の生き物なの？」年末、チコちゃんに教えてもらいました。

「上へ昇っていく生き物といえば龍しか思いつかなかったから」だそうです。

解説は大東文化大学の山口謠司教授。そもそも十二支は中国の殷の時代（紀元前17～15世紀ごろ）に誕生したものと伝わっていて、もともとの十二支は1年を12に区切って、その時期ごとの植物の成長過程を表す漢字だったというのが元祖十二支だそう。ただし、植物の成長過程では覚えづらいということで身近にいる動物にこれらを当てはめて覚えるように変化。例えば「子」は命がたくさん芽生えるというところから繁殖能力が強い生き物であるネズミ。「寅」は成長の力強さを象徴するものとしてトラ。そして「辰」に関しては空に向かって植物のツルがぐんぐん伸びていくイメージでしたが、これに相当する動物として中国ではメジャーな生き物の龍をチョイスすることに。というのも中国で龍は恵みの雨をもたらしてくれる崇拝の対象として、かなり身近な生き物だったという事情も。

2024年（令和6年）の幕開けです。辰年にあやかって、ツルがぐんぐん伸びていくように、大きく成長する年にしていきましょう。

日	曜日	行事予定
9	火	始業式・給食開始 部活動無し
10	水	ALT
11	木	
12	金	課題テスト
13	土	
14	日	
15	月	登校指導
16	火	
17	水	1A（3-4限）暴力防止教室 5限書初競書会
18	木	1B（3-4限）暴力防止教室
19	金	
20	土	科学作品展
21	日	桃山勤労者体育センター
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	命の授業 1A（3限） 1B（4限）
27	土	書初競書会展覧会（中央展出品作品のみ）
28	日	桃山勤労者体育センター
29	月	
30	火	
31	水	

12/15（金）「インターネット」について和歌山警察本部の方からお話をいただきました。感想を紹介します。



- ・ SNSなどで犯罪に巻き込まれている中学生がたくさんいることがわかった。
- ・ 普通に使っているLINEなどで、自分の命をうばうかもしれないことを知りました。また、送られてきた写真を別の人に送ると大変なことになることを知りました。

- ・ 1回だけでも個人情報を流してしまうと取り返しのつかないことになって、人生が変わってしまうと思いました。
- ・ ちゃんと大人の人と相談し、危険な目にあわないようにしようと思いました。また、和歌山県でもたくさん被害があると知り、とても身近なものだと思いました。

